

## 平成20年度第1回次世代育成支援対策地域協議会 会議録

日 時 平成20年5月24日（土）14：00～15：30  
場 所 総合福祉保健センター4階会議室  
出席委員 中井会長、菅村副会長、竹中委員、徳田委員、加郷委員、  
小川委員、末永委員、山田委員、相澤委員、菊池委員、服部委員、  
莊委員、齋藤委員、大貫委員  
欠席委員 西委員、皆川委員、松村委員、高橋委員  
事務局 福留こども課長、染谷こども課子育て総合相談室長、  
齋藤こども課主幹、飯田こども課副主幹（事）こども係長、  
高野こども課保育係長、北川こども課主事  
記 録 北川  
資 料 別添のとおり

### 会 議 内 容

- 1 開 会 齋藤主幹
- 2 あいさつ 中井会長
- 3 新委員自己紹介 加郷委員、服部委員
- 4 副会長の選出 菅村委員が選出された。
- 5 会議録署名人の選出 加郷委員、莊委員が選出された。
- 6 議 題  
(会長)  
では、まず配付された資料について事務局から説明願います。  
(事務局)  
資料に基づき、説明。  
(会長)  
何か質問などありますか。  
(会長)  
質問はない様なので、次の議題の(2)その他について、事務局から説明願います。  
(事務局)  
資料に基づき、行動計画見直しスケジュールについて説明。  
(A委員)  
19時から会議を行う場合は、責任をもって自分の子どもを預ける場所を探して頂けるのか。

(事務局)

回答はその時とし、今は回答を控えさせていただきます。

(B委員)

見直し案がたくさんあり、わかりにくい。予算は限られていると思うので、一点集中的に行うのはいかがか。重点をどこに置くのかを示して頂ければ、案が出しやすくなると思う。

(事務局)

一定水準は保たなくてはならないが、どこに重点を置かなくてはならないかを考えざるを得ない方向に来ている。政策判断になる部分もあるが、重点施策を強調する上でも皆様の意見を頂ければありがたいと考えております。

(C委員)

母子家庭の母親の就職支援については、無償でしょうか。

(事務局)

受講料そのものはご本人で出してもらいます。例えば市民税を払っている世帯で2年間修業しているとすると8ヶ月について51,500円ずつ月々をお支払するもので、修業期間の生活費の軽減を図るためのものです。

(B委員)

提案であるが、市民公募で来ている方のほうが生活に密着している分、質問や要望があると思う。市民公募で来ている方の意見を聞ければ良いと思う。

(会長)

市民公募の方は3名いるので、この中でどなたか意見はありますか。

(A委員)

出産、保育、障がい、金銭面等で悩んだときに市役所は相談にのってくれない。フォローしてくれとまでは言わないが、皆平等に扱ってほしい。

(会長)

ある程度の決まりがあるので行政もその範囲で行う必要がある。個人的な話ではなく建設的な議論をするべきだと考えます。

(D委員)

お母さんの気持ちはわかります。話を聞いてあげるだけで、100パーセントではありませんがより良い方向にいくと思います。

(B委員)

100点を求めてはいけないと思います。

(A委員)

100点は求めていませんが、こういう人もいるということを知ってほしい。

(B委員)

経験上、行政に100点を求めてはいけません。求めてしまうとバラバラになってしまいます。行政にも許容量はあるのでその中でやるしかないと言えます。あとは、言葉ひとつで変わる部分もあると思うので、制度を変えることを考える議論になりがちですが、手の届く範囲内で出来ることを行うという部分で、反映されるのではない

かと信じております。

(A委員)

私も信じております。

(E委員)

保育だけではない、子どもを持つ親の話しの場所がなくなっている。話をすれば解決することもたくさんあると思います。できれば機会を設けて小さいお子さんを連れて話せる場所にきて頂きたいと思います。

(F委員)

前回、子育て支援事業の見学に伺ったときに実施場所まで足を運べる人は幸せだと思いました。いろいろな支援事業を見ていて実施場所まで行けない人たちの支援について、この会議でも考えないといけないと痛切に感じました。

(D委員)

それについて、おおよそ保育園で地域子育て支援センターを立ち上げたときに出て来られない方たちの対応について悩みました。しかし、今、来ている方たちから回りの地域の方たちに少しずつ支援の輪を広げていくことが大切だと感じています。

(事務局)

出て来られない方たちは確かにおります。その方々の最初の見極めは、保健推進員の全戸訪問で行っております。その全戸訪問の中で全数を把握して、孤立している方を見つけることは可能なのでその中で見落とさないことに力をいれており、また、役割だと考えております。

(G委員)

全体的に幼児支援策に対しては、少しずつ成果が上がってきていると思います。成果が上がれば上がるほどさらに上の年代を考えた支援策、例えば放課後児童クラブなどまで広げた見方にしていかなければならないと考えております。

## 5 閉 会 中井会長

以上で会議は終了した。

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成21年1月28日

氏 名 莊 嚴 \_\_\_\_\_

氏 名 加郷 由里子 \_\_\_\_\_